

2026年度公益社団法人乙訓青年会議所

地域未来共育委員会 基本方針

地域未来共育委員会 委員長 佐伯 龍人

委員会 設置背景	日本教育は知識の暗記を重視してきたことで、知識量こそが社会での評価基準となり、乙訓地域でも受験重視の風潮が強く、知識偏重型教育が主流となっている現状があります。この教育手法は思考力・表現力を不足させ、学ぶ意欲の低下を招き、知識と生活の結びつきを弱めてしまいます。自ら考えて動く人財を増加させることができ、社会の変化に柔軟に対応できる、新たな価値や繋がりを生み出せる社会を築く必要があります。
委員会 設置目的	変化の激しい社会を生き抜ける論理的思考能力を備えた人財を生み出すことを目的とする。
委員会 概要	<p>1. 3月オープン例会の開催 近年インターネットや AI の進化により、知識偏重型教育だけでは通用しなくなった中、論理的思考能力を備える必要があります。論理的思考能力がなぜ必要なのか、どうすれば身につけることができるのかを発信する場を設け、メンバーや市民に対して学びの機会を創出することで、論理的思考能力の必要性を伝えることに繋げます。</p> <p>2. 8月例会の開催 情報を正確に捉え、筋道を立てて考え、根拠を持って判断ができるていない現状があり、自ら考え、責任を持って行動する力を養う必要があります。論理的思考を身につけ、根拠に基づいて判断することで、主体的に行動し、新たな価値を生み出す人材の育成に繋げます。</p> <p>3. 次世代育成事業の開催 従来の教育では、知識や価値を合理的に伝達し、テストのために知識や正解を効率よく学習させてきた中、目まぐるしい時代の変化により複雑な問題を効率的に解決する必要があり、他者と円滑なコミュニケーションを図る上で必要不可欠な論理的思考能力を学ぶことで、問題解決能力の向上に繋げます。</p> <p>4. 地域の子どもに対して論理的思考を向上させる推進事業 知識を効率的に習得し、正解を導く力に重点を置いてきた教育が続く中、複雑化する社会課題に柔軟かつ合理的に対応できる人材を育成する必要があります。論理的思考を学び、多種多様な人材と協働しながら根拠に基づいて判断・行動することで、主体的に課題を解決する力を育みます。</p>
委員会 活動方針	地域未来教育委員会は、メンバー、地域のみんなが、主体的に考え、論理的思考能力を身について未来を切り拓く力を育むことを目的とし、探究型の学びの機会を提供します。ONE FOR ALL・ALL FOR ONE の精神で、子どもたちや地域全体に「考える力」と「挑戦する文化」を広げ、人にやる気持ちと持続的な成長の循環を生み出し、組織の先頭を走っていける委員会運営を行なってまいります。
委員会 スローガン	ONE FOR ALL・ALL FOR ONE ～一人はみんなのためにみんなは一つの目的のために